

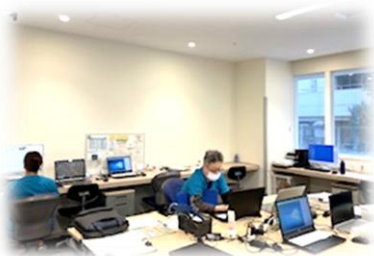
市立青梅総合

医療センターだより



第78号

2025年11月～2026年1月号



市立青梅総合医療センター

内 容（目 次）

1. 年頭所感 “西多摩地域の中核病院として”	……2P
青梅市病院事業管理者兼病院長	大友 建一郎
2. 地域連携医通信 “受診される方々の健康維持に、微力ながらお役に立てる様に 努めると共に、高齢患者さんの「幸せ基準度 Up」に努めたいと思います。”	……4P
医療法人社団求心会栄町診療所 院長	佐々木 裕芳
3. “診療科の紹介 =心臓血管外科=”	……6P
心臓血管外科 部長	大石 清寿
4. 令和7年10月2日から令和8年1月1日までの医師異動表	…… 7P
5. 地域医療連携室からのお知らせとお願い	……8P
6. 事前予約枠一覧表	……9P
7. 外来担当表	……10P
8. 各種病診連携カンファレンス	……13P
9. CPC 予定表	……14P

（表紙：臨床工学科）

= 当院の理念 =

私たちは、快適で優しい療養環境のもと、
地域が必要とする高度な急性期医療を、
安全かつ患者さんを中心に実践します。

= 基本方針 =

1. 清潔・・・私たちは、清潔な病院づくりに努めます。
2. 親切・・・私たちは、親切的な病院づくりに努めます。
3. 信頼・・・私たちは、信頼される病院づくりに努めます。
4. 自立・・・私たちは、自立できる病院づくりに努めます。

1. 年頭所感 “西多摩地域の中核病院として”

青梅市病院事業管理者兼病院長 大友 建一郎

新年あけましておめでとうございます。

日頃より多くの患者さんをご紹介いただき、心より御礼申し上げます。

また、病院運営につきましても格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年はインフルエンザ流行のピークと9連休が重なり、年末年始の救急外来は大変な混雑となりました。今年はインフルエンザ流行が11月に前倒しとなったこともあり、同じ9連休ではありましたが、昨年よりは比較的落ち着いた状況で推移したように思われます。年末年始の救急外来および入院診療を支えてくれた病院職員に、改めて感謝いたします。



新病院整備事業につきましては、本年度、病院西側の「旧新棟」を「西館」として改修しました。本館とは「渡り廊下棟」で接続され、4月には渡り廊下棟の本館接続部分(1階ファミリーマート奥)にある講堂の運用を開始しました。更に、夏には西館5階に「緩和ケア病棟」、4階に「こころの診療科(旧精神科)病棟」を開棟しています。また、3階に移転したリハビリテーション室では、新たに外来心臓リハビリテーションを開始しました。1、2階は管理棟となっています。今後は、旧東棟・旧西棟を解体し、駐車場整備を含む外構工事を進めていく予定です。建設業の働き方改革等の影響により、グランドオープンは当初予定より遅れが見込まれますが、令和11年度末の完成を目標に安全第一で工事を進めてまいります。

病院運営の状況ですが、新病院本館開院から2年が経過し、令和6年度の救急外来患者数21,972人、救急車受入れ5,724台、ヘリコプター受入れ37件と、いずれも過去最高となりました。令和7年度においても救急車応需率は多摩地区8か所の救命救急センターの中で第1位となっています。がん診療では、令和6年度のがん手術総件数は630件で、その約6割を鏡視下手術で施行しました。手術支援ロボット(Da Vinci)による手術も外科・泌尿器科・産婦人科・呼吸器外科など年間140件を超えています。外来治療センターでの外来化学療法は年間6,600件、放射線治療については昨年8月より強度変調放射線治療(IMRT)を開始しました。6月に西館で稼働した緩和ケア病棟、令和元年に更新した最新型の半導体PET-CTと合わせ、地域がん診療連携拠点病院として、診断から手術、化学療法、放射線治療、緩和ケアまで一貫したがん診療体制を整えています。

当院が西多摩医療圏の中核として高度急性期・高度専門医療を提供し続けていくためには、先生方からの患者さんのご紹介が不可欠であると考えています。当日緊急受診が必要な患者さんを円滑に受け入れるため、令和5年度より地域連携緊急相談電話(医師直通電話:0428-24-0022)の運用を開始しました。昨年10月からは各科部長・副部長が交替で対応しており、毎月80件以上のご相談をいただき、応需率90%、入院率50%で推移しています。本年もぜひ積極的にご活用ください。なお、当日緊急受診の必要性が低い場合には、従来どおり地域連携室医師会専用電話(0428-21-6120)への事前予約(FAX予約)

をご利用いただければ幸いです。また、地域連携室訪問担当者(高橋・佐藤)による四半期ごとの定期訪問も継続しており、当院からの情報提供とあわせて、病院運営に関するご意見・ご要望をお寄せいただければと考えております。

一方、後方連携につきましては、急速な高齢化を背景に今後想定される「救急パンデミック」や「心不全パンデミック」への対応が急務と認識しています。当院が急性期病院として救急医療を担い続けるためには、病状の安定した患者さんの早期転院に加え、軽症患者さんを救急外来から、あるいは入院翌日に転院搬送する体制、いわゆる「下り搬送」の充実も重要であると考えています。

これらの連携を円滑に進めるうえで電子カルテ情報の共有は極めて重要となります。西多摩医師会が主体となって運営している「にしたまICTネットワーク」を通じて、昨年度も1,400件を超える患者さんについて当院の電子カルテをご覧いただきました。退院・転院時の診療・看護情報の共有に加え、ご紹介患者さんの経過確認や救急受診時の所見・検査データの閲覧など、様々な用途でご活用いただけますので、今後もぜひご利用ください。

本年も、病診連携・病病連携のさらなる充実と強化に努めてまいります。ご意見・ご要望等がございましたら、地域医療連携室、または私のメールアドレス(ohtomo-k@mghp.ome.tokyo.jp)までお寄せいただければ幸いです。

本年も変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



2. 地域連携医通信 “受診される方々の健康維持に、微力ながらお役に立てる様に努めると共に、高齢患者さんの「幸せ基準度 Up」に努めたいと思います。”



医療法人社団求心会栄町診療所 院長 佐々木 裕芳
〒205-0002 羽村市栄町 1-14-46
tel: 042-555-8233

栄町診療所の佐々木裕芳です。この度は「医療センターだより」への寄稿機会をいただき誠にありがとうございます。私が前医である関谷進一郎先生より法人を継承させていただいたのが 2022 年 3 月です。

栄町診療所は 1987 年(昭和 62 年)に関谷進一郎先生と川口卓治先生が共同で開院された事に始まります。1992 年(平成 4 年)現在の場所に移転し、その後、2004 年(平成 16 年)に川口先生が独立して他の場所に開院され関谷先生が継承されて来た経緯があります。

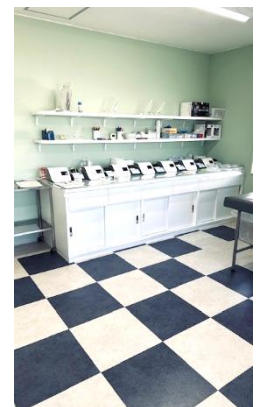
私は 1998 年東京医科大学卒業後、入学前に在住していた Boston に戻り、整形外科講座の研究パートナー(Ph・D)と私とで共同創業(Co-Founder)した R&D の E-TEX Corp (University Park at MIT, Cambridge, Massachusetts)で骨代謝の研究及び製品開発に精を出しておりました。製品が FDA(アメリカ食品医薬品局 Food and Drug Administration)の認可を得て、international patent も取得し会社も一段落したところで日本に戻ろうとしましたが、戻るあてがありませんでした。



そこで、東京医科大学健診予防医学研究センターのセンター長である山澤教授にお願いして入局させていただきました。その後、山澤先生に誘われ日本人間ドック学会の専門医取得の為に二人で講習・実習を重ね認定医を経て専門医取得。その後、知人の紹介で入职した所は、名誉院長が三村信英先生(第 5 代虎の門病院院長)で CT などもある有床クリニックでした。そこではほぼ丸 2 年間、クリニック内にある部屋に住み込み当直医も兼務し、24 時間救急対応もする事になりました。初めの頃、夜間救急時には院長先生が常にサポートしてくれていた事に対しては今でも感謝しております。今まで医者として正規の臨床トレーニングを受けてこなかった自分にとって全てが貴重な臨床経験となり必死だったのを覚えています。そこでは一般内科全般を約 8 年間修行させていただきました。当時の先生方には今も感謝しております。

その後、2012 年に筑波大学大学院人間総合科学研究科疾患制御医学終了、学位記授与。学位論文審査の際に主査を務めていただきました榊原 譲 先生(胸部外科、心臓血管外科教授)にはお人柄も含め大変影響を受けました。しかし、喫煙もされない榊原先生が肺癌で 50 歳代半ばという若さで亡くなられた時は非常にショックを受けた事を覚えています。

2016 年、特定非営利活動法人 日本口腔科学会専門医制度推進委員会委員、2017 年、筑波大学附属病院つくば予防医学研究センター入職(非常勤)。2020 年、カレス札幌時計台記念病院内科・健診センター入職。故郷の北海道に帰って独居の母親の面倒を見ようと札幌に行きましたが、間もなく母が 93 歳の時総胆管癌で亡くなり、更に北海道の冬の厳しさの現実も痛感していた時、偶然知人から栄町診療所と関谷先生を紹介されました。



＝PCR 検査機器＝

西多摩地区は地震があっても地盤が強そうだし、飛行機がよく飛んでいるのも気に入りました。御縁が有りお世話になる事となり現在に至っております。

引き継いでもう少して 4 年目に入りますが、市立青梅総合医療センター各科の諸先生方には日頃から並々ならぬご助力・ご指導をいただいております。大変感謝致しております。

当院の患者様は約 60%が 65 歳以上の方々です。人間、徐々に高齢になるにつれて、「健康への意欲の低下。」更に、“幸せの閾値や基準” が下がって行く様に見受けられます。「自分の足で歩ける事が幸せだ！」と仰る方もいます。私は高齢者の方々には、「もっと健康に対して『欲』を出そうね。」と語り掛けています。Boston 在住時にある内科の教授が「言葉も医療！」と言っていた事が非常に印象に残っています。

かかりつけ医は慢性疾患の治療及び指導をする事も大切だと思います。と同時に、それぞれの患者さんと医療にかかわる人達が問題点を共有する事も大切だと考えて働いております。

これからも地域の医師会の先生方のご指導をいただき、更に市立青梅総合医療センターの先生方のご指導ご鞭撻をいただきながら地域の方々と共存し、次に繋げていければ幸いだと考えております。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



院内施設



“栄町診療所ホームページ”より

3. “診療科の紹介 =心臓血管外科=”

心臓血管外科 部長 大石 清寿

2025 年 10 月より市立青梅総合医療センター 心臓血管外科に赴任いたしました、大石清寿と申します。
私は 2005 年に東京医科歯科大学(現・東京科学大学)を卒業後、同大学心臓血管外科学教室にて研鑽を積んでまいりました。

2011 年 7 月から 2015 年 3 月までの間、当時は青梅市立総合病院と呼ばれた当医療センターに勤務した経験があり、この病院は私自身にとって初めての開心術を執刀させていただいた思い入れの深い病院でもあります。この度、再び当地で診療に携われることを大変うれしく思うとともに、地域医療に少しでも貢献できるよう努めてまいります。

前任地である東京科学大学では、虚血性心疾患、弁膜症、大動脈疾患を中心とした成人心疾患の外科治療を担当し、なかでも大動脈疾患の外科治療に注力して、開胸人工血管置換術からステントグラフト治療(カテーテル治療)まで、予定・緊急を問わず対応してまいりました。合併症の予防と早期回復を常に意識し、他施設に劣らない診療を行ってきたと自負しております。

今後は冠動脈バイパス術や弁膜症治療においても、患者さん一人ひとりにとって最適と考えられる治療を提供していきたいと考えております。

当科は 2000 年 6 月に胸部外科として開設され、これまでに 2000 例を超える心臓・大血管手術を行ってきました。2023 年 4 月からは心臓血管外科として、心臓・胸部大血管のみならず、腹部・末梢血管まで含めた全身の循環器・血管疾患を診療対象としています。

また、心臓血管外科、循環器内科、看護師、臨床工学技士など多職種によるハートチームを構成し、カンファレンスで十分な検討を行ったうえで、患者さんにとって最適な治療方針を決定しています。基礎疾患を多く有するハイリスク症例など、他院では治療が困難と判断された患者さんに対しても、他診療科・多職種と連携しながら対応できることが総合病院の強みであると考えております。

今後も地域の先生方と密に連携し、協力しながら、より良い医療を提供していきたいと考えております。ご紹介やご相談など、お困りの症例がございましたら、どうぞお気軽にご連絡ください。



4. 令和7年10月2日から令和8年1月1日までの医師異動表

令和7年10月2日から令和8年1月1日までの間、医師5名が退職し医師3名の採用がありました。

●センター長・部長・副部長

退職 医師

日 付	科 名	役 職 名	退 職 者
10月 31日	総合内科	部長	野 口 和 男
11 月 30 日	産婦人科	副部長	立 花 由 理
12月 31日	こころの診療科	副部長	田 中 修

●医長・医員・嘱託医・専攻医

退職 医師

日 付	科 名	役職名	退 職 者
11 月 30 日	消化器・一般外科	医員	植 木 優 果
12 月 31 日	小児科	専攻医	児 玉 あ り す

新任 医師

日 付	科 名	役職名	採 用 者
12 月 1 日	消化器・一般外科	医員	大 浦 麻 緒 子
	産婦人科	嘱託医	立 花 由 理
1 月 1 日	こころの診療科	専攻医	涌 井 隆 行

*1月1日現在、当院の医師数は、嘱託医・専攻医・初期臨床研修医を含め、161名です。
(歯科医師を含む)

ご案内のお知らせ

第21回市立青梅総合医療センター地域医療連携懇話会

日時:令和8年 2月18日(水) 19時30分～

会場:市立青梅総合医療センター 1階講堂

演者:疼痛緩和内科(緩和ケア科) 部長 松井 孝至

東京都西多摩歯科医師会 病診連携研修会

日時:令和8年 2月12日(木) 17時30分～

会場:市立青梅総合医療センター 1階講堂

演者:歯科口腔外科 医長 下野 宏晃

皆様のご参加をお待ちしております。

5. 地域医療連携室からのお知らせとお願い

新春のお慶びを申し上げます。昨年中は多くの患者さんをご紹介いただきまして誠にありがとうございました。

事前予約は 1 日平均 35 件のお申込みをいただいております。一昨年同月比では約 3%減ではありますが、昨年 11 月には 70 件のお申込みをいただき過去最高件数を記録いたしました。これも地域の先生方のご協力の賜物と感謝申し上げます。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

今年度は消化器内科の予約枠を増やしましたので、お待たせすることなく予約をお取りすることができました。また、形成外科の枠が 9 枠増えました。どうぞご利用ください。詳しくは『事前予約枠一覧表』をご参照ください。

※『事前予約申込書』、『事前予約枠一覧表』は当院ホームページからダウンロードできます。

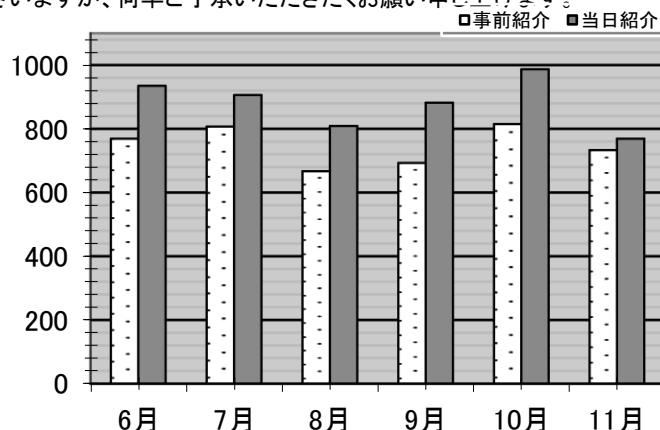
トップページの地域医療連携→事前予約方法→事前予約枠一覧表 PDF、下にスクロールすると『事前予約申込書』の PDF、WORD があります。

※事前予約申込書から電子カルテ情報、診療券を作成いたします。患者氏名、生年月日、電話番号等、ご記入の際はご記入情報に間違いがないかご確認ください。

※ご病状により、ご依頼いただいた科以外での受診となる場合がございますが、何卒ご了承いただきたくお願い申し上げます。

紹介患者数一覧表

ご紹介の 形態	ご紹介いただいた患者数					
	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月
事前予約	769	807	667	693	815	733
当日紹介	935	906	809	882	987	769
合計	1,704	1,713	1,476	1,575	1,802	1,502



事前予約で受診の場合には

- ①診療予約時間が確定します。
- ②総合受付での受付時間が短縮します。

※予約なしで紹介状をお持ちいただいた場合、当日に診療できますがお待ちいただくことがあります。

【事前予約の流れ】

1. 予約のお問い合わせ先

0428-22-3191(代表電話)

こころの診療科・
もの忘れ外来

こころの診療科外来へ、
連絡ください。
『事前予約枠一覧表』を
ご参照ください。

心房細動外来、血管外来(循環器内科)
心臓弁膜症外来、血管外来(心臓血管外科)、
SAS 外来、骨粗鬆症予備外来
生活習慣病栄養指導外来、糖尿病透析予防外来
インスリン・CGM 外来(持続性血糖モニタリング)

地域医療連携室へ連絡ください。

※診療科予約は『事前予約枠一覧表』をご参照ください。
※SAS 外来は患者さんからの予約も承っております。
※電話が繋がりにくい場合は先に FAX をお送りください。
折り返しお電話を差し上げます。

CT・MRI・PET・RI 検査

放射線診断科受付へ連絡
ください。

『事前予約枠一覧表』を
ご参照ください。

当院ホームページから診療情報提供
書(紹介状)兼検査申込書をダウンロ
ードできます。

2. 『事前予約申込書』等の送り先

0428-25-1854(地域医療連携室直通 FAX)

土日祝日を含めて 24 時間 FAX を受け付けております。一般電話受付時間 8:30~17:00

17時以降にご送信いただいた申込書については翌営業日にご連絡いたします。※予約票はお送りしておりません。

6. 事前予約枠一覧表

令和8年1月1日現在

診療科	○の中の数字は人数					時間	備考
	月	火	水	木	金		
内科	②	②	②	②	②	9時～	診断が確定していない場合にご予約いただけます。
生活習慣病栄養指導外来	②	②	②	②	②	9時30分～	診断が確定している場合は各専門外来にご紹介ください。
呼吸器内科 ※	④	④	④	②	④	11時30分～12時	受診予約前日までに診療情報提供書のFAXをお願いします。 予約時間の60分前までに来院するようお願いください。
SAS 外来	②	②				16時～16時30分	睡眠時無呼吸症候群の疑いの方はSAS外来にご紹介ください。 患者さんからもご予約いただけます。
消化器内科 ※	⑦	⑤	⑥	⑨	④		予約時間はお問い合わせください。
循環器内科 ※	⑦	⑦	⑦	⑧	⑦	9時30分～12時30分	予約時間の45分前までに来院するようお願いください。
心房細動外来					②	9時～10時	予約時間の30分前までに来院するようお願いください。
血管外来(循内) ※		④				14時～16時	閉塞性動脈硬化症の場合はこちらへご紹介ください。予約時間の30分前までに来院するようお願いください。
心臓弁膜症外来				④		14時～15時	予約時間の60分前までに来院するようお願いください。
腎臓内科 ※	②	②	③	①	①	10時30分～12時30分	受診予約前日までに診療情報提供書と検査データのFAXをお願いします。 予約時間はお問い合わせください。
内分泌糖尿病内科※	③			①	③	10時～12時30分	受診予約前日までに診療情報提供書と検査データのFAXをお願いいたします。
糖尿病透析予防外来	○			○		12時～	予約時間の60分前までに来院するようお願いください。
インスリンポンプ CGM 外来		③				14時30分～16時	
血液内科 ※	①	①	①	①		10時30分～11時	9時45分までに来院するようお願いください。受診予約前日までに診療情報提供書と検査データのFAXをお願いいたします。
リウマチ科 ※	②	③	②	③	②	9時～14時	受診予約前日までに診療情報提供書のFAXをお願いします。
外科 ※	③	③	③	③	③	9時30分～11時30分	受診予約前日までに診療情報提供書のFAXをお願いします。
乳腺外来 ※							7/31 乳腺科医退職に伴い乳腺外来を一時閉鎖しています。
脳神経外科 ※	⑥		⑥	①	②	9時～10時	火曜日は手術日です。
脳神経内科 ※	②	⑤	②	⑤	②	13時～14時	もの忘れ・認知症はこころの診療科の「もの忘れ外来」へご紹介ください。
呼吸器外科 ※	③		③				受診日・時間は、診療情報提供書をFAXしていただき、医師に確認の上、ご連絡差し上げます。
心臓血管外科 ※	①		①				受診予約前日までに診療情報提供書のFAXをお願いします。
血管外来(心外) ※	②					9時～9時30分	腹部大動脈瘤・下肢静脈瘤の場合はこちらへご紹介ください。 受診予約前日までに診療情報提供書のFAXをお願いします。
整形外科 ※	○	○	○	○	○		受診予約前日までに診療情報提供書のFAXをお願いします。
骨密度(DEXA)検査	○		○	○	○		検査時間は30分程度です。
骨粗鬆症予備外来		○	○				
産婦人科 ※	④	④	④	④	④	9時～10時、14時30分～15時	
皮膚科 ※	○	○	○	○	○	9時30分～11時	受診予約前日までに診療情報提供書のFAXをお願いします。完全予約制です。
形成外科 ※	④		④	④			予約時間はお問い合わせください。完全予約制です。
泌尿器科	③		③	③		10時～11時30分	受診前に検尿があり。受診時採尿できない場合は必ず当日の朝に採尿したものをお持ちください。
小児科 ※	○	○	○	○	○	9時～12時	人数制限はありません。受診予約前日までに診療情報提供書のFAXをお願いします。
眼科	②	①		②	②	9時40分～10時50分	当日は症状により散瞳剤を点眼して検査を行う場合があるため ご自身が運転するお車でのご来院はお控えください。
耳鼻いんこう科		②	②	②	②	10時～11時	水曜日は手術日のため医師指定はできません。またARB検査は受診当日にはできません。
こころの診療科 もの忘れ外来						こころの診療科外来で予約を承ります⇒TEL0428-22-3191(代表)	
放射線診断科						CT,MRIの検査の予約は放射線科受付で承ります⇒TEL0428-22-3191(代表)	
放射線治療科	②	②		②	②	9時30分～11時	外来通院可能な患者さん(乳腺・前立腺など)は放射線治療科へ、要入院・化学療法患者さんは当該診療科へご紹介ください。
歯科口腔外科	④	④		④	④	9時30分～11時	予約時間の60分前までに来院するようお願いください。

地域医療連携室直通 FAX 0428-25-1854

※印は『診療情報提供書』のFAX送信を受診予約日の前営業日までをお願いしております

7. 外来担当表

◆: 当日受付可

無印: 予約及び紹介のみ

(令和8年1月1日現在)

		月	火	水	木	金
総合内科	午前	当番医◆	当番医◆	当番医◆	当番医◆	当番医◆
呼吸器内科	午前	大友悠	伊藤達	日下	大場	大場
		大井田	甲斐	伊藤達	須原	本田
	午後	大友悠	伊藤達	日下	大場	大場
		大井田	甲斐		日下	本田
消化器内科	午前	濱野	小林	伊藤ゆ	野口	渡部太
		久保田	芥田	普天間	野澤	岡田理
	午後	濱野	渡部太	伊藤ゆ	野口	芥田
			普天間	岡田理	久保田	
循環器内科	午前/午後	鈴木麻	阿部	小野裕	栗原	宮崎
		山本航	坂本	長嶺	埜本	岸上
腎臓内科	午前	松川	松川	河本	高見	木村
		シャント外来		佐藤奈	シャント外来	
内分泌 糖尿病内科	午前	大島	大島	大島	山田	大島
		今村				山田
	午後	大島	インスリンポンプ CGM外来		今村	大島
血液内科	午前	岡田啓	藤本	川上	長濱	熊谷
リウマチ・ 膠原病科	午前	長坂	戸倉	長坂	竹中健	長坂
				戸倉		戸倉
	午後	長坂	戸倉	長坂	傳田	長坂
			鰐田	戸倉		戸倉
緩和ケア科	午後	松井	佐藤謙	松井		佐藤謙
皮膚科	午前	竹治(第1・3・5)	鈴木結	竹治	椎名(第1・3・5)	関根
		鈴木怜(第2・4)			関根(第2・4)	
形成外科	午前	井上◆		井上◆	井上◆	

		月	火	水	木	金
外科	午前		当番医◆	山崎	当番医◆	当番医◆
			石井博	ストマ外来	竹中芳	
	午後		山下		平野	津島
			石井博		石井拳	加藤舞
乳腺外科 (再診予約)	午前/午後	大崎(第2・4)	塚田(第1)		佐伯(第2)	
心臓血管 外科	午前	山本諭			工藤昌	山本諭
		工藤				
	午後	大石		大石	血管外来	
		血管外来				
呼吸器外科	午前	今井		森恵		
整形外科	午前/午後	当番医◆	当番医◆	加藤剛・古岡	当番医◆	当番医◆
			加藤剛	林田	古岡(午前)	加藤剛(午前)
		股関節専門外来 (第1・3・4・5)	石井宣・松多	西(午前)		石井宣(午前)
		林田(午前)		水谷(午後)		脊椎専門外来 (午前)
		脊椎専門外来 (午後)	西(午後)	骨腫瘍専門外来 (第1午後)		膝専門外来(午後)
	骨粗鬆症外来		予診(午後)	予診(午前)		石井宣(午前)
				加藤剛(午前)		
産婦人科	午前	当番医◆	当番医◆	当番医◆	当番医◆	当番医◆
		大吉	立花	伊田	河野	大河内
		鈴木晃	斉藤	小澤桃	土田	神谷
		谷口	山本奈	中島		
	午後		当番医2時～4時		当番医2時～4時	
	妊婦健診 (午前)	斉藤	谷口	大河内	神谷	山本奈
	午後	産後1か月健診	予約外来	産後1か月健診	予約外来	予約外来
			子宮がん検診		子宮がん検診	
	助産師	当番助産師 (9:00～14:00)	当番助産師 (9:00～16:00)	当番助産師 (9:00～14:00)	当番助産師 (9:00～16:00)	当番助産師 (9:00～16:00)
			授乳相談	母親教室	母乳外来	
脳神経 センター ・脳神経内科 ・脳神経外科	午前	脳神経外科	脳神経内科	脳神経内科	脳神経内科	脳神経外科
		当番医(新患)◆	当番医(新患)◆	当番医(新患)◆	当番医(新患)◆	当番医(新患)◆
		脳神経内科	脳神経内科	脳神経内科	脳神経内科	脳神経内科
		田尾(午前/午後)	藤野(午前/午後)	仁科	工藤大(午前/午後)	田尾(午前/午後)
		脳神経外科		脳神経外科	脳神経外科	
		伊藤慧		伊藤慧	野田	

		月	火	水	木	金
泌尿器科	午前	中園 ◆		森洋 ◆	森洋 ◆	
		大塚 ◆		渡部啓 ◆	中園 ◆	
	午後	中園	手術	森洋	森洋	予約診療
		渡部啓		大塚	中園	手術
		予約診療		予約診療	予約の検査	
		予約の検査・手術		予約の検査		
小児科	午前	安藤 ◆	高橋 ◆	下田 ◆	高橋 ◆	横山 ◆
		百瀬 ◆	横山 ◆	山本櫻 ◆	安藤 ◆	小野真 ◆
		山本櫻 ◆	小野真 ◆	岩田 ◆	百瀬 ◆	下田 ◆
		飯島 ◆	当番医 ◆	飯島 ◆	当番医 ◆	岩田 ◆
	午後	神経外来 (第2・4)	心理外来	心理外来 (第1・3)	心臓外来 (第1・4)	小児外科外来 (第2)
		アレルギー	乳児健診		神経外来	腎臓外来 (第4)
		予防接種			内分泌外来 (第3)	内分泌外来 (第1)
						乳児健診
眼科	午前	森浩 ◆	森浩 ◆	当番医 ◆	森浩 ◆	当番医 ◆
		寺松 ◆			寺松 ◆	寺松 ◆
耳鼻いんこう科・ 頭頸部外科	午前	当番医 ◆	河邊 ◆	当番医 ◆	逢坂 ◆	溝口 ◆
		手術	溝口	手術	河邊	河邊
			逢坂		溝口	逢坂
	午後		補聴器外来		頭頸部外科外来	
					補聴器外来	
こころの診療科	午前/午後	(新患) 当番医	(新患) 当番医	(新患) 当番医	(新患) 当番医	(新患) 当番医
		(午前)	(午前)	(午前)	(午前)	(午前)
		横濱	岡崎	谷	岡崎	涌井
			谷	涌井	伊佐治	
放射線治療科	午前	星	田邊	田邊	星	田邊
リハビリテー ション科	午前					
歯科口腔外科	午前	下野	下野		下野	下野

8. 各種病診連携カンファレンス

青梅心電図勉強会(2、7月)

第57回 未定

西多摩心臓病研究会(10月)

第41回 未定

西多摩呼吸器懇話会(5、11月)

第38回 未定

西多摩消化器疾患カンファレンス(夏、冬)

第37回 未定

西多摩高血圧カンファレンス(年1回)

第24回 未定

順次、詳細が決まりましたら、お知らせいたします。
多くの皆様のご参加をお待ちしております。

本年も、どうぞよろしくお願いいたします。



9. CPC 予定表

時間 17 時 30 分～19 時 00 分
(時間が変更になっております。ご注意ください。)

場所 渡り廊下棟 1 階 講堂(倉庫側)

原則として隔月(偶数月)の第4月曜日に開催されます。

* 令和8年 3月 2日(月) 17:30～
(2月23日は、祝日のため、変更いたします。)

* 詳細については、決まり次第、お知らせいたします。

* 令和8年 4月 27日(月)

* 詳細については、決まり次第、お知らせいたします。

お忙しい中での皆様のご参加に、感謝いたします。
本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

CPC担当 病理診断科部長 笠原 一郎



編集後記

昨年中は大変お世話になりました。多くの患者さんをご紹介いただき、またお受け入れいただきありがとうございました。

この年末年始も昨年に続き 9 連休という大型連休となりました。救急外来では約 1,000 人の患者さんを受け入れ、そのうち約 150 名の患者さんが入院となりましたが、救急外来エリアの導線の整備、事務局による案内などの対応で、大きな混乱もなく診療にあたることができました。

2 月に予定しております懇話会では、緩和ケア病棟の松井医師が、緩和ケアの制度・歴史等について講演させていただきます。地域の医療機関従事者の皆様のご参加をお待ちしております。(参照:p7)

日々の連携において、地域の先生方のご意見、ご要望に応じる体制が十分でないことも多々あるかと思いますが、地域の先生方や患者さんの期待にそえるよう、職員一同より良い医療の提供に努めてまいります。

なにとぞ、本年もよろしくお願いいたします。

地域医療連携室 看護師長 手塚浩恵

市立青梅総合医療センターだより 令和7年11月～令和8年1月 第78号

発 行 令和8年1月

発行者 市立青梅総合医療センター

病院事業管理者兼病院長 大友 建一郎

担 当 地域医療連携室 / 広報サービス委員会

〒198-0042 青梅市東青梅4-16-5

TEL 0428-22-3191

FAX 0428-24-5126

URL <http://www.mghp.ome.tokyo.jp/>